



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部44円
題字 井戸 知事

火は見てる
あなたが見てる
その時を

平成十九年度 消防団長名簿

各地区の団長を御紹介します。

(平成十九年度七月一日現在、敬称略)

神戸地区

神 戸 市	東 灘	中 央	兵 庫	北 区	長 田	須 磨	垂 水	西 上	水 上
志 井 一 彦	伊 藤 真 彦	前 田 平 章	田 中 明 章	祢 木 和 明	濱 江 爲 司	黒 藤 博 司	佐 藤 博 司	安 尾 博 司	渡 邊 真 二

中播磨地区

姫 路 市	姫 路 東	姫 路 西	飾 磨	網 干	家 島 町	夢 前 町	香 寺 町	安 富 町	市 川 町	福 崎 町	神 河 町
坪 田 裕	金 澤 孝	梶 原 哲	中 田 正 成	上 田 一 夫	栗 林 忠 道	白 石 光 廣	梅 田 善 幸	藤 田 晃 宏	藤 田 晃 宏	藤 原 泰 彦	藤 原 泰 彦

北播磨地区

西 脇 市	西 脇 市	三 木 市	小 野 市	加 西 市	加 西 市	加 東 市	多 可 町
遠 藤 明	西 藤 明	中 西 君 一	小 林 正 幸	吉 田 秀 貴	吉 田 秀 貴	梶 間 信 明	梶 間 信 明

東播磨地区

明 石 市	荻 野 忠 志	後 藤 政 義	山 本 良 樹	橋 本 剛 司	高 砂 市	稲 美 町	播 磨 町
志 井 一 彦	伊 藤 真 彦	前 田 平 章	田 中 明 章	祢 木 和 明	濱 江 爲 司	黒 藤 博 司	佐 藤 博 司

西播磨地区

相 生 市	河 合 勝	た つ の 市	田 中 旭	赤 穂 市	望 月 昌 次	宍 粟 市	山 崎 浩
河 合 勝	田 中 旭	望 月 昌 次	横 野 正 浩	望 月 昌 次	横 野 正 浩	宍 粟 市	山 崎 浩

但馬地区

波 賀 田 敏 廣	千 種 春 名 玄 貴	佐 用 町 松 田 芳 夫	上 郡 町 松 本 隆 雄
-----------	-------------	---------------	---------------

豊岡市

西 垣 豪 太 郎	日 生 下 慎 一	山 根 昌 勝	竹 中 正 巳	石 田 和 正	坂 岡 政 昭	片 岡 正 稔	金 田 正 夫	本 城 繁 信	平 澤 輝 實
-----------	-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

丹波地区

篠 山 市	坂 下 邦 男	丹 波 市	藤 本 修 作
-------	---------	-------	---------

淡路地区

洲 本 市	米 山 昇	南 あ わ じ 市	真 野 和 典	淡 路 市	井 筒 良 夫
-------	-------	-----------	---------	-------	---------

「第一回神崎郡消防操法大会開催」

神崎郡支部

平成十九年六月二四日(日)に神崎郡神河町寺前「大河内中学校グラウンド」において、第一回神崎郡消防操法大会が開催されました。

市町合併により神崎郡三町(神河町・市川町・福崎町)と規模が縮小しましたが、一昨年来まで開催されていた「中播磨地区消防操法大会」(神崎郡・飾磨郡七町で開催)を今年から「神崎郡消防操法大会」と大会名を変更し、新たな大会としてスタートしました。

大会には各町大会を勝ち抜いた選抜チーム十一隊(小型ポンプの部六隊・ポンプ自動車の部の部五隊)が出場し、各地区から駆けつけた多数の応援団が見守る中、熱戦が繰り広げられました。当日は天候が悪く早朝から降る雨により大会開催が心配されましたが、多数の来賓のご臨席を賜り盛大に開催されました。

審査は姫路市中播磨消防署に依頼し、小型動力ポンプの部から開始、時おり強く降る雨により視界が悪く、又ぬかるみに足を取られバランスを崩す場面もあり、本来の力が十分発揮できない状況ではありましたが、精一杯の操法を披露する隊員の姿に、見守る客席からの応援にも一層熱が入りました。

審査は姫路市中播磨消防署に依頼し、小型動力ポンプの部から開始、時おり強く降る雨により視界が悪く、又ぬかるみに足を取られバランスを崩す場面もあり、本来の力が十分発揮できない状況ではありましたが、精一杯の操法を披露する隊員の姿に、見守る客席からの応援にも一層熱が入りました。



第1回神崎郡消防操法大会



競技結果は次のとおりです。

小型動力ポンプの部

- 優勝 庄 分 団 (福崎町消防団)
- 準優勝 福 田 分 団 (福崎町消防団)
- 第三位 作 畑 分 団 (神河町消防団)
- ポンプ自動車の部
- 優勝 大 畑 分 団 (神河町消防団)
- 準優勝 福 本 分 団 (神河町消防団)

今年のお操法大会は本大会で終了しますが、来年の中播磨地区大会、兵庫県大会には各分団とも更に訓練を重ね、全国大会出場を目指し頑張ってくださいと思います。

悪天候の中、ご来賓の皆様、各町応援団の皆様、ご声援ありがとうございました。また、各町消防団員及び出場選手の皆様、大変お疲れ様でした。

「昭和の時代を振り返って」

元多紀郡今田町消防団長
酒井 勇



戦後間もない昭和二三年に、今田町消防団に入団。色々とおる内の三六年間の団員生活でした。

消防団今昔

40

姫路市香寺町消防団長

白石 光廣



昭和二九年に香呂村と中寺村が合併して町制が施行され、同年に香寺町消防団が、団員六三〇名で発足いたしました。私が香寺町消防団に入団したのは、昭和三五年一月二日でした。

この頃の香寺町内では、各集落に手引きポンプは備えられていました。機動力のある消防ポンプ車は溝口分団と須加院分団の二台しかなく、昭和三七年に香寺町役場内に特設分団が設置され、消防ポンプ自動車が一増え、この三台で香寺町内全域と隣接する福崎町、姫路市船

入団当時は、腕用ポンプでしたが、今は空冷エンジンの動力ポンプ、ポンプ自動車と、消防機材の交代を体験しました。動力ポンプの導入で、消火活動に集中できるようになり、多くの団員が、消火活動にあたる姿を見るたびに頭の下がる思いでした。

中でも隣の旧社町の民家三軒が延焼したとき、火災消火を応援した事が印象に残っております。また、兵庫県消防学校へ操法訓練や新入団員の基本訓練で入校したときの事が今でも頭に残っております。

津町・山田町・豊富町付近まで応援出動していました。当時は、香寺町内に自動車そのものの台数が少ない時代でしたので、車の運転免許所有者の数が少なく、入団してすぐに溝口分団のポンプ車機関員を担当いたしました。車両はボンネットタイプの前席二人乗りで、消防ポンプ自動車の荷台に分団員が乗り、消防用ホースを積載し、現場に出動していました。

以降、昭和四〇年代から、手引きポンプから消防ポンプ自動車や小型ポンプ積載車に順次整備され、今日に至りました。

また、平成十八年三月には香寺町が隣接する姫路市と合併し、姫路市香寺町消防団と組織が大

我が今田町は、昔に比べると住宅団地の開発で人口も増え、町の様子も様変わりいたしました。

しかし、今も昔も変わる事の無い消防精神で、「自分たちの町は、自分たちで守る」と言う意識と規律を重んじて、消防団員らしさを失わずに活動してほしいと思います。

消防訓練、水防訓練等に日夜今も昔も変わることの無い消防精神に感謝しております。



土留鋼板工法他の水防工法訓練

大きく変わり、現在では二三分団三七八名の団員と消防車両二二台で、災害時の活動はもとより、新入団員及び幹部訓練、水防訓練等の定例訓練や、兵庫県や姫路市が主催される各種防災訓練等に参加し、地域に密着した、市民の皆さんの「安全・安心」に貢献できる消防団活動に頑張っています。

地区通信

安心して生活できる町づくり

川西市消防団

川西市は、兵庫県の東南部に位置し、東は大阪府池田市に、西は宝塚市と猪名川町、南は伊丹市に接しており東西に狭く、南北に細長い地形で南北を縦断するように一級河川の猪名川が流れています。北部は山岳の起伏に富み、南部は平坦で市の中心市街地になっていきます。

さて、平成十六年一〇月に発生した台風二三号は、兵庫県下に甚大な被害をもたらし、当市においても猪名川が増水し、床上浸水による被害が発生し地域住民には避難勧告が発令される事態となりました。

また、昨年七月にも梅雨前線に伴う豪雨のため避難勧告を発令した地域があり、加えて当市内には現在一三一の急傾斜地崩壊危険箇所があります。

そこで、梅雨前線が近畿地区に停滞しその活動が活発となり阪神地区は大雨になるとの想定で、平成十九年五月二六日の土曜日に川西市水防訓練を実施しました。

訓練当日は、快晴となり、とても暑くなりましたが、暑さも忘れるほどの団員の気迫で集中した訓練となりました。

訓練には、消防団をはじめ、市役所、警察署から約一五〇人が参加して行われました。訓練内容は、土嚢作成、水防工法、浸水排水訓練とし、まず、土嚢作成から始まり、四班に分かれて、月の輪、釜段、改良積み、シート張りの四工法を各班の分団長の指揮のもと、ベテラ



土嚢作成は自作の一斗缶で

協力しながら実施しました。新入団員にとっては初めての経験で戸惑いのあったものの、熱心な先輩の指導もありスムーズに活動できていました。土嚢作成時には、短時間で同じ大きさの土嚢を作成できるようにと各部自作の一斗缶(空缶の底を切断したもの)を使用して土嚢を作成しました。

毎年、基本的な訓練内容となりますが、参加団員の顔ぶれも変わることから、反復訓練こそが災害時に生かせるものであると考えています。

日頃から地域住民とのコミュニケーションを密にして、「安心して生活できる町」を、そして「自分たちの町は自分たちで守る!」を合言葉に訓練を無事終了しました。

団員の皆さま、大変ご苦労さまでした。



暑さも忘れて活動する団員

美と力を備えた新しいテクノロジーが社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する モリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003大阪市生野区小路東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山



「水火を辞せず」

神戸市垂水消防団
佐藤 博司 団長



垂水区は、神戸市の市街地の西端に位置し、歴史ある風光明媚な土地で、現在は、文化経済の交流拠点として期待されています。

垂水消防団は、昭和三年に垂水消防組として発足し、昭和五七年に西区の分区に伴い、一消防団八分団となりました。現在、八分団で一六〇名の消防団員で組織され、各分団が一致団結し、規律厳正にして、団員の資質向上に努め、神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会では、毎回上位入賞を果たしております。

平成十九年四月に新垂水消防署庁舎がオープンし、これを契機に団長の「安らぎと厳しさ」をもって団員一同「心機一転」垂水区民の安全・安心に貢献しております。

佐藤団長は、明治二十七年創業の造園業社長として奮闘されており、三年前に放送されたNHK連続テレビ小説「わかば」の当地ロケでは、造園技術を惜しまず協力支援され、テレビ業界の舞台裏等で貴重な体験をされています。

わがまちの団長さん

⑭

海のとく！

姫路市家島町消防団
上面 一夫 団長



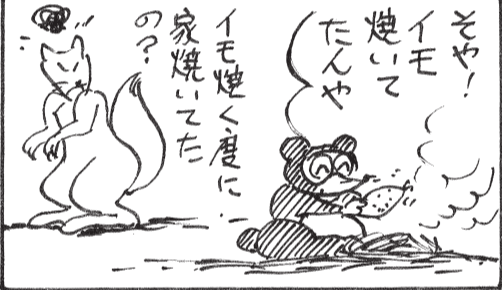
谷崎潤一郎の「乱菊物語」にもうたわれている姫路市家島町は、姫路港から南西十八キロメートル（定期船で約二十五分）を隔てた播磨灘の中央に位置し、四

〇余の島による総称である家島群島全域を以て形成されており、静かな波とともにたたずむ風景は、まさに瀬戸内の海が創り出した自然の造形美そのものです。

家島町消防団は、四分団、一七〇人体制で、地域住民の安全・安心を守るため献身的な活動を実施しており、消防団に対する期待はますます大きくなっているところと見られます。

上面団長は、昭和四十六年二月に家島町消防団の坊勢分団に入団され、平成十九年四月に団長に就任されました。「みずからの地域はみずから守る」という信念のもと、団幹部就任時から現在に至るまで、団員の資質向上を図るため、各種教育訓練を実施するとともに、非常時に備えた実戦的な訓練や、救命率の向上を目指して団員に

わらの家



地区通信

「青空の下、家族と共に」

赤穂市消防団

新緑まぶしい四月半ば、赤穂市消防団恒例の「消防功労表彰伝達式並びに消防団のつどい」が県立赤穂海浜公園で開催されました。

このイベントは、消防操法大会の開催がない年に隔年で行っているもので、第一部は表彰伝達、第二部は分団対抗のグランドゴルフ大会で心地よい汗を流します。今年の大会は、前回の雨天と打って変わって晴天に恵まれ、消防団員はもちろんのこと、団員家族の方々にも多数参加いただき盛大に行われました。

参加者の中には、本年二月号の紙面で紹介した「チビッコ消防隊長」のうえいお君たちの顔も見られ「操法の方がおもしろいよ」とつぶやく場面もありましたが、筒先からスティック

クに持ちかえて大人顔負けのナイスショットはお見事！ご存知ない方は念のため、グランドゴルフは広大な芝生上に八ホールまでのコースを設け、木製のスティックとボールで打数の総計を競い、小さな子どもから年配まで気軽に楽しめるスポーツです。チームの半分を子どもたちで編成している分団や「絶対に優勝するぞ」と鼻息の荒い分団もあり、それぞれに大変な盛り上がりです。

最後に、私たちにのどかな雰囲気と広々とした開放感を与えてくれる赤穂海浜公園は、赤穂御崎の西にある塩田跡地を利用し、昭和六二年に開園した総面積七二haの公園で、南にビーチを望む園内には、海洋科学館・塩の国のほか、遊戯施設の整った赤穂わくわくランド、テニスコート、パターゴルフ場、ボート遊びが楽しめる赤湖などの施設があります。また、隣接したオートキャンプ場も多彩なテントサイトを備え人気を呼んでいます。

夏休み到来、ご家族そろって播州赤穂へ足を運んでみてください。お待ちしております。



消防団のつどい選手宣誓

最後に、私たちにのどかな雰囲気と広々とした開放感を与えてくれる赤穂海浜公園は、赤穂御崎の西にある塩田跡地を利用し、昭和六二年に開園した総面積七二haの公園で、南にビーチを望む園内には、海洋科学館・塩の国のほか、遊戯施設の整った赤穂わくわくランド、テニスコート、パターゴルフ場、ボート遊びが楽しめる赤湖などの施設があります。また、隣接したオートキャンプ場も多彩なテントサイトを備え人気を呼んでいます。



いのうえいおり隊長ナイスショット



グランドゴルフラウンド開始



消防功労表彰伝達式

北から南から

「郷土の神社訪問」

神戸市北消防団有野支団

昭和二三年三月一日有野村が神戸市と合併。有野町となり、六甲山北谷に源を發し、有野川の流域に沿って東西四キロ南北十四キロわたり、かつては、新緑豊かな山々を背景に、のどかな田園風景をかもし出す農山村でありました。

この頃の人口は、四、八〇〇人余りでしたが宅地開発などにより、現在では五四、〇〇〇人を超える町として大きく様変わりしています。今日は、都市化の進む有野町にあって、歴史と由緒ある神社を紹介したいと思います。

有間神社は延喜式内神で、境内面積は約三万平方メートル。摂津の国有馬郡の一の宮と言われ、有馬郡内の総産土神として有間総社とも称されました。祭神はこの地方を開拓としたとい



郷土の神社訪問



防災福祉コミュニティ消火訓練



防災福祉コミュニティ訓練II

より山口の里に齎ぎしてきたが、燐村の西尾は七尾七谷の山林あり、前に有野川の清流に臨む霊秀の地である。そこに移りたい。」との神託がありました。現在は、初詣の参拝者が長蛇の列をつくっています。

山王神社(上唐櫃) 創建年月は不詳。以前は大歳神社と称していましたが、元禄年間(一六八八年―一七〇三年) 有間神社から大巳貴命を勧請して山王神社と改称しました。元禄以前の

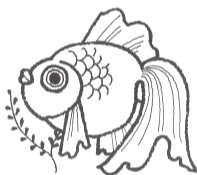
一六七九年(延宝七年) 検地帳に「遠坂、山王神社一町歩余地と出ているところから、同神社は、元は六甲山麓に近い遠坂にあって、神社名も延宝七年の検地以前に改称されたことになり

ます。一六八七年(貞享四年) 二回にわたり、六甲山に大山津波が起り、上唐櫃一帯も大被害を受けました。その際に同神社も流失し、再びこのような被害を受けられない安全な場所にと現在に移されました。

勝を祈願して赤松則村、則祐が金幣など奉納したとの伝承があります。このほか、江戸時代と明治維新に出された高札三枚が保管されていて、そのうちの一枚は一七二一年(正徳元年)のもので、火付け人取り締まりに関する高札であります。有野町内に残る最も古いもので、未だに黒々と記された簡条等がはっきり読みとれ、貴重な資料であります。

最後に有野川の源流ともいわれている川がこの唐櫃地域の中をながれています。冬を除く季節には、清流での川遊びや山探索など子供から大人までが、一日中楽しめます。

神戸市北消防団有野支団はこれらのすばらしい自然と、由緒ある神社、そして町民をあらゆる災害から守るため日夜頑張っています。



編集後記

天候のすぐれない日が続いておりませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

日夜消防業務に携わっておられる皆様にとっては、厳しい季節ですが、体調には十分にお気を付けてください。

さて、今月号では兵庫県下各地区の団長さんを紹介させていただきます。

また、消防団今昔には元多紀郡今田町消防団長酒井勇さん、姫路市香寺町消防団長白石光廣さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、一面にて神崎郡支部より操法大会開催の寄稿をいただいておりますので、お礼申し上げます。

今後とも、各地区での様々なイベントやユニークな出来事等の記事を紙面にて紹介させていただきます。よろしくお願いいたしますので、遠慮なく寄稿してください。

「こんにちは！兵庫の消防団です」



<http://www.hyogoshoubou.jp/>

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- | | |
|---------------|---------------|
| 屈折梯子付消防ポンプ自動車 | 消防救助工作車 |
| 化学消防ポンプ自動車 | 小型ポンプ積載車 |
| 水槽付消防ポンプ自動車 | シバウラ小型動力消防ポンプ |
| 普通型消防ポンプ自動車 | 各種消防用品 |
| 高発泡機付消防自動車 | 消防用ホース |



株式会社 吉谷機械製作所

本社・工場 鳥取市古海 3 5 6 の 1
 TEL (0857) 23-2211(代)
 FAX (0857) 27-1766



西垣消防器具製作所

669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461

TEL:(079)672-3131

FAX:(079)672-3132

E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp

